

2003年3月5日

株式会社ダイエー  
株式会社マルエツ

## ダイエーとマルエツとの戦略的連携について

株式会社ダイエー（以下ダイエー、兵庫県神戸市 社長 高木邦夫）と株式会社マルエツ（以下マルエツ、東京都豊島区 社長 吉野平八郎）とは、グループシナジーをより一層強力に追求し、相互の企業価値の最大化を目指すためスーパーマーケット事業（以下「S M事業」という）を軸とした戦略的且つ広範囲な連携（以下「戦略的連携」という）を行なうことについて、基本合意いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 戦略的連携の狙い

マルエツは、ダイエーグループにおけるS M事業の中核企業であり、両社では既に商品の共同仕入れ等の取組みを行なうなど協力関係を構築してきました。

ダイエーは、ダイエーグループ「新3カ年計画」に基づき、営業力の改善・強化に取り組んでおり、2003年度の営業方針においては、個店特性に対応した営業力強化策の一つとして、「食品（+日用品）」を核とした小型G M Sの構造改革とS M事業の再構築を打ち出しております。

マルエツは、お客様の「健康」と「食文化」を創造する「快適生活創造企業」を目指し、地域になくてはならない「地縁ストア」づくりに取り組んでおり、首都圏において営業基盤の強化拡大を行なってまいりました。

今回、両社は顧客ニーズの多様化等に対応した商品仕入・店舗オペレーションの更なる深耕を図るために戦略的連携を実施いたします。

首都圏にドミナント戦略を掲げ、地域密着型で高いパフォーマンスをあげているマルエツの、「エリア・バイイング（お客様の細かなニーズに応えるためのエリア毎の仕入システム）」を活用したビジネス・モデル、お客様の声を常に意識する「マーケットイン」発

想や現場主義といったコーポレート・カルチャーを、ダイエーは積極的に導入することにより、収益力の柱である食品を更に強化することによって、営業力を高めてまいります。

一方、マルエツにおいては、ダイエーと連携することで仕入・配送の共同化、人材の交流等を通じて、ビジョンである首都圏フーズ・シェア１０％に挑戦するという「リージョン１０構想」の実現性をより高めることが期待できます。

## ２.戦略的連携の内容

店舗オペレーション・出店・改装  
品揃え・棚割り  
共同販促  
共同配送  
共同商品開発  
商品の相互供給  
人材交流

なお、詳細については今後両社の「連携委員会（仮称）」で協議の上、決定していきます。

## ３.役員派遣

マルエツの代表取締役である吉野平八郎はダイエーの顧問に就任し、営業面の指導を担当いたします。

## ４.基本合意締結日 ２００３年３月５日

以上

### < お問合せ先 >

（株）ダイエー	ＩＲ広報本部	玉虫、西村	03-3433-9231
（株）マルエツ	広報ＩＲ部	尾池、湯本	03-3590-0016